

洛南教育

教育の目的

人権尊重の精神を身につけ、創造的で個性豊かな実践力をそなえた、たくましく思いやりのある人間を育成する。

教育目標

生徒一人一人が、大切にされていると実感する教育活動を推進する。
信頼関係で結ばれた学校づくりを行う。
生徒・保護者・地域・教職員が、共に汗をながす学校づくりを行う。

～「継承」と「創造」～「厳しく温かく育む」～

めざす生徒像

誠実	心をこめ、思いが伝わる行動がとれる
真実	正しい判断と責任ある行動がとれる
堅実	確実に力を積み上げ、自らの進路を切り拓く

生徒の努力目標

「気づき、考え、行動する。」

学校経営方針

洛南教育の中心は、人権教育を柱に位置づけて様々な取組を行ってきた。その歴史の中で、人権教育の推進を通してその背景にまで踏み込み「一人一人の子どもを徹底的に大切にす」教育を充実させてきた。

様々な人権問題が地域に現存するという認識をもち、「地域の実態に学ぶ」という本校教育の原点を頑固に守り、今日の教育改革において、今まで以上に主体的に取り組んでいく必要がある。

教 育 実 践

1.行動する学校

- ・教職員間の信頼関係があっこそ、生徒・保護者・地域に信頼される学校となる。
- ・教職員が自ら研修を積極的に行い、専門性・創造性を生かした、幅広い教育活動を展開するために、活力と温かみのある生き生きとした教職員集団を組織する。
- ・教育目標具現化のため、「組織の力」と「個人の力」で粘り強く取り組み、共通理解ときめ細かい指導を実践する。
- ・生徒・保護者・地域の真のねがいを知るためには、地域（小学校）に積極的に出向き実際に体験する。

2.地域（小学校）との連携

- ・学校・家庭・地域（小学校）がそれぞれの教育的機能を発揮できる連携を強化することにより、共に高め合う信頼感で結ばれた学校づくりを推進する。

3.教育環境の整備

- ・教職員、生徒、保護者、地域の共汗と協働により、潤いのある教育環境を創り出す。

重 点 課 題

- 1 社会的な立場においてさまざまな実態や思いを抱えたり、背負わされたりしている教育的支援を必要とする生徒に焦点をあてながら、すべての生徒が基礎的基本的な内容を確実に身につける教育活動の推進。
- 2 生徒に「自己学習力」「自己表現力」をつける とともに「自尊感情」を育み、豊かな人権感覚を育てながら、個々の生徒の自己実現を目指す教育活動の推進。
- 3 生徒・保護者・地域の真のねがいと向き合い、共に汗をかき、信頼関係を築くとともに、心の通った教育活動の実践。

具 体 的 な 実 践 課 題

- 1 一人一人の進路展望を助け、進路希望を達成するため、基礎的基本的な内容の確実な定着とその活用ができる学力の伸長をはかる取組の実践。
- 2 生徒とのふれあい、地域の活動や家庭訪問、小中連携を充実することにより、生徒の実態を的確に捉え、その実態を踏まえた指導内容や指導方法の研究・実践。
- 3 体験的な学習活動を通して、豊かな心を育む指導の実践。
- 4 すべての生徒が主体的に活動できる集団づくりの実践。
- 5 学校評価を活かし、学校の実態を明らかにし、見えてくる課題を踏まえた実践。